

# 城北の福祉

ともに支え ともに生きる

第 70 号  
2017, 12, 31  
(平成 29 年)

編集・発行  
城北地区社会  
福祉協議会

## 城北地区では17人と

### 1企業に感謝状贈呈

鳥取市福祉大会開催

鳥取市社会福祉大会が11月30日に鳥取市民会館で開催されました。

永年社会福祉活動に功績のあった方々に鳥取市長および鳥取市社会福祉協議会会長から感謝状等が贈られました。

城北地区からは、民生児童委員4人、愛の訪問協力員7人、永年賛助会員5人と1企業が授与されました。

おめでとうございます  
感謝状及び表彰状を授与された方は次のみなさまです。  
(敬称は省略させていただきます)

#### 【鳥取市長関係】

##### ◎民生児童委員

- 小谷 務 (秋里)
- 山部 美雪 (田園4)
- 田口さち子 (田島)
- 垣田 敬子 (南城北)

##### ◎愛の訪問協力員

- 中瀬奈穂美 (田園4)
- 渡邊由紀子 (松並1区)
- 右近 正江 (丸山西)

#### 【市社協会長関係】

##### ◎地区社協

- 西村 健 (田園3)

##### ◎愛の訪問協力員

- 伊藤美智子 (青葉3)
- 細田 宏子 (田園3)
- 坂本ひとみ (松並2北)
- 長谷 博文 (丸山大屋)

##### ◎賛助会員 (7年)

- 浦島敬次郎 (田島)
- リックフクヤ (田島)
- 北風 功 (秋里)
- 渡部 修 (秋里)
- 中本 良寿 (秋里)
- 水田 憲夫 (田園4)

(総務班 橋本京子)



表彰状を受ける西村会長

## 善意の福祉バザー

10月21日・22日の両日、城北地区文化祭が開催されました。

福祉バザーも同時販売する予定でしたが、台風接近の為バザーは土曜日の1日のみの販売とさせていただきますました。

来場者のみなさまは、福祉バザーの趣旨を理解くださり売上げに協力してくださいました。

バザーのために地域の方々が寄せて下さいました600



福祉バザーの販売風景です

点余りの善意の品々はほぼ完売し売上金額は7万数千円となりました。  
このバザーに協力いただきました全体的にお陰と深く感謝すると共に、この収益は地域の福祉活動の貴重な財源として活用させていただきます。  
本当にありがとうございます。  
(総務班 橋本 京子)

# 敬老会を開催

## くもつともつと長まきをく

城北地区「敬老祝賀会」が9月10日城北小学校体育館で2年ぶりに開催されました。お年寄りの長寿をお祝いし、75歳以上の818人に招待状をお届けしたところ、231人が出席してくださいました。

式では西村実行委員長の主催者挨拶のあと、角谷市議、吉野市議が来賓代表で祝辞を行いました。90歳到達者15人のうち式典に出席されている山本拓さんから3人の紹介が行われ、それぞれに感謝状を渡しました。

城北小学校2年生によるコーラス、謡曲教室生の「羽衣」の後祝宴に入りました。

心尽くしの料理を味わいながら城北保育園児の「しゃんしゃん傘踊り」や「剣舞」、「吟詠」、鳥取第2幼稚園の「歌とダンス」などに大きな拍手

を送っていました。

2年後の再会を約束し敬老祝賀会は無事終了致しました。(総務班 大江博臣)



2年生によるコーラスです

# 福祉研修会

## 「つながりの手がかりとして」

### 「障がい者差別解消法」

#### 施行にあたって

8月19日(土)城北地区公民館において60人の参加者で

福祉研修会を開催しました。

講師は鳥取市国府町総合支所市民福祉課人権教育推進員の河越智子さんです。

昨年の4月、障がい者差別解消法が施行されました。

その直後の7月26日神奈川県相模原市のやまゆり園で、痛ましい事件が起きました。

それに関するネットでの心無い書き込みが社会的弱者を深く傷つけてしまいました。

障がい者問題は福祉・医療の問題でもあり、障がい者の意志を尊重して聞くなど、受け留める側がいろんな方法を試みるのが大切です。

「私たちは、障がい者である前に人間だ」(ピープルファースト)いろんな人がいるのがあたり前の社会になるよう、まずは自分が変わることです。

社会の仕組みを変え、一人ひとりがかけがえの無い存在で互いに判り合えるなら、そうすれば、誰でもが暮らしや

すい社会になり、地域や町に

成るのではないかと河越さんが熱く語られました。

やさしい町、城北を目指し、まずは自分から変わっていく。それが社会を変える一歩になることを信じて。

(厚生班 山部美雪)

# 城北小学校児童福祉委員との協同事業について

秋晴れの10月2日、授業が

終わった小学校児童福祉委員と地区社協委員、民生児童委員、地区児童青少年委員、地区交通安全協会役員、主任児童委員がいくつかの班を作りひとり暮らしの高齢者宅を訪問致しました。

本年度は田園町3丁目・田園町4丁目東・田園町4丁目・松並町3丁目・丸山西・丸山大星の指定されたお宅を児童15人と二人の先生をはじめと

してそれぞれの役員達が手分

けをし、児童の手作り写真立てと安全協会からの反射材付きたすきと安全チラシを手渡しました。

訪問先のおばあさんは子ども達からのプレゼントに「ありがとうね、とてもよくできていますね」と笑顔で受け取り嬉しそうでした。

短い時間でしたが、各おとしよりと子ども達の有意義な交流の時間でした。

(民生児童委員 鈴木 潤子)



子どもよりプレゼントを渡されるおばあちゃん

# 優勝は小谷さん

10月4日、秋空の下「城北地区まちづくりグラウンドゴルフ大会並びに第13回日本海新聞鳥取城北専売所杯グラウンドゴルフ大会」が重箱緑地多目的広場で開催されました。

開会式では城北まちづくり協議会の吉田正人会長さんが「前日の雨で少し湿りがちのグラウンドゴルフですが、グラウンドゴルフを通じて健康維持に努めてください」とあいさつされ、同専売所の徳永真太郎所長も「日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し魂のこもった1打々で良いスコアをたたき出して下さい」と選手を激励する挨拶がありました。

スタートの合図と共に72名の参加者が2ラウンド16ホールでの熱戦を繰りひろげました。参加者の競争意識はさまざま、ゲームに対する集中力は熱いものを感じさせるものでした。

その中でホールインワン2本を決めた秋里の小谷荘太郎さんが初優勝を飾られました。



左から沖田さん、小谷さん、木村さん

上位成績者は次の通りです。  
※敬称は省略させていただきます。

- 優勝 小谷荘太郎(秋里) 36
- 準優勝 沖田博敬(田園4) 37
- 三位 木村 進(秋里) 37
- 四位 西尾美恵子(秋里タウ) 37
- 五位 長春 次郎(松並3区)
- 六位 瀧下 宗二(青葉3丁)
- 七位 宮本 勲(丸山西)
- 八位 木下 秀一(秋里)
- 九位 米井孝次郎(秋里タウ)
- 十位 木村 英美(秋里)

## 城北子どもサマースクールを 開校

※敬称は省略させていただきます  
※秋里タウは秋里タウ(まちづくり協議会)  
福祉健康部会 西村(仗行)

「子育て支援」の一環として地区社協と公民館が共催で8月1・2・3日の3ヶ日間、第7回城北子どもサマースクールを開校いたしました。参加した子ども達の中から3年生と4年生の2人に代表して感想を発表してもらいました。

### \*サマースクールの3日間 (3年 Kさん)

1日目は、工作です。工作はたのしいし、先生がいろいろとおしえてくださったので、たのしかったです。しゅ

くだいなどをおしえてくださってうれしかったです。2日目のサジアストロパークは、金星がすごいです。シージイ(CG)プラネタリウムでみるのがすごかったです。また、いきたいです。サマースクールさいしゅうび、はじめしゅくだいをしました。

ごはんがおいしかったです。かきごうりもさいこうでした。らい年も、またいきたいなと思いました。

### \*さじアストロパーク (4年 Iさん)

8月2日水曜日に、みんなでさじ町の「さじアストロパーク」に行きました。心に残った事が3つあります。

一つ目はプラネタリウムです。プラネタリウムで夏の夜空と太陽はこう変わったと言う話を聞きました。いて座やこと座、夏の大三角を教えてくださいました。夏の大きな大三角は、アルタイトとベガとデネブで

できる三角形のことでした。二つ目は、天体望遠きょうで星を見たことです。昼に見える星は、金星とシリウスを見ました。シリウスは金星よりも少し大きく、シリウスはとても小さかったです。でも二つの星、どちらもすごく明るく光っていたのでとてもきれいでした。

三つ目は、クイズラリーです。クイズラリーは色いろなところに、はってあるクイズをといて、AかBにきめました。さいてんすると一つまちがいがあったのでくやしかったです。



昼間の星を見る子どもたち

# 合同研修会を開催 ～認知症について～

去る11月22日城北地区公民館で、「となり組福祉員」と「愛の訪問協力員」の合同研修会を開催いたしました。

講師は、介護福祉士（介護支援専門員・認知症キャリアバリエーション）の仕事をして16年間続けておられる吉田幸子さんです。

「認知症について・介護支援専門員について」をテーマに講演して頂きました。

鳥取市の認知症の現状は、65歳以上では8,357人で6人に1人の割合です。

また、40～64歳は122人いて他人事ではないようです。

認知症を引き起こす原因は脳の細胞がゆつくりと死んで脳が委縮するアルツハイマー型・レビー小体型認知症、その他脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化などがあるようです。

認知症の予防には、脳の活性化を図ること、その①快楽で笑顔に、②コミュニケーション

ションで楽しく、③役割・日課を持つ事、④ほめる・ほめられる。

これらを心がける事です。

介護支援専門員は、ケアマネジャーと称され、要支援介護認定者及びその家族から相談を受け、介護サービスのケアプランを作成する人の事です。

6人の内の1人にならないように、4つの脳活性化に取り組みたいと思いました。

（となり組福祉員 圓井健史）  
（愛の訪問協力員 入江順子）



6人の内の一人にならないように

## 城北ふれあい教室

第5回 (174回)

8月19日のふれあい教室は

「シユーカーツ（終活）ってどんなカツ？」と題した講演を69人が聴講いたしました。

講師に源行政書士&FP事務所代表の源和樹さんを向かえ、もしもの時を想定しながら「遺言書」や「エンディングノート」の書き方を全員で見本を参考に作成し、封筒に入れるまでを指導して頂きました。

今までは、漠然としか考えてこなかった「人生の終活」について、今回の実践？で真剣に取り組みむきかけになりました。

源講師は城北地区に居住されていて、地域とご自身の「つながり」をととても大切にされている思いを新聞のコラムを紹介しながら話されました。

続いて川島久美子さんに「健康寿命を延ばすにはどうしたらいいの？」をテーマに軽い運動を交えて話していただきました。

お二人の講師にはパート2の講演を計画する約束をして本日の教室を終了しました。（ふれあい教室班 大田紀子）



人生の終活とは？

第6回 (通算175回)

11月

2ヶ月間のお休みだった「ふれあい教室」は、あいにくの時雨もようの天候ではありますが、11月18日参加者56人がありました。

血圧測定などの健康チェックを済ませた後、「楽しくカラダを動かしましょう！」と題して、健康運動指導員の岡村由香里さんを講師に迎え、岡村さんが軽妙なテンポで体を動かす手本を示されると、皆さんもつられて体を動かすことができました。

2人で1組になり、頭の体操も取り入れた動きには、さすがについていけないところもあり、会場のあちらこちらで



手をつないで楽しく体操

爆笑がおこり、熱気にあふれていました。体も心もポカポカですっかりリフレッシュいたしました。

（ふれあい教室班 今井由喜子）

## 寄付のお礼

香典返し

匿名希望者

から香典返しとして多額のご寄付をいただきました。

ご厚志に感謝しご冥福をお祈り申し上げます。

城北地区社会福祉協議会

会長 西村 健